

いばらき自転車活用推進委員会 開催結果（議事要旨）

- 1 日 時：令和2年2月6日（木） 13：15～14：45
- 2 場 所：県庁舎5階共用会議室
- 3 出席者：別添名簿のとおり
- 4 結 果：
 - ・ 事務局より「いばらき自転車活用推進計画」の改定及び計画に基づく各種施策の取組状況等を、各委員へ説明した
 - ・ 各委員からの主な意見については、以下のとおり

議事（1）いばらき自転車活用推進計画の改定について（資料1-1～1-3）

- ・ ホームページ構築の際、AI を使って翻訳するスキームを予め構築すると、将来的なメンテナンスコストを抑えることが可能なので検討いただきたい。
- ・ りんりんポートの知名度が低く、より一層のPRが必要。

議事（2）いばらき自転車活用推進計画に基づく各種施策の取組状況について（資料2-1～2-3）

議事（3）いばらき自転車通行環境整備ガイドライン（案）について（資料2-1）

- ・ 外国からのお客様が安心して自転車損害賠償保険に加入している自転車を利用できる旨、案内の工夫が必要。
- ・ 交流人口・関係人口を増やし地域にお金が落ちるよう、地域住民を巻き込んだ受入体制の検討が必要。
- ・ サポートライダー間のネットワーク構築、活用方策の検討が必要。
- ・ 奥久慈里山ヒルクライムルートなど新たなルートが形成される中、情報収集が容易にできるよう、各ルートを束ねた情報発信が必要。
- ・ サイクリングのサポート体制構築に向け、若手の育成が課題。
- ・ 県職員の自転車通勤でAIを活用しながら健康に寄与するエビデンスを取ってはどうか。
- ・ 太平洋岸自転車道とつくば霞ヶ浦りんりんロードが繋がれば茨城県から和歌山県までの広大なサイクリングロードができる。
- ・ インバウンド誘客の受口になるよう茨城空港のゲートウェイ化を進めてほしい。
- ・ 交通手段別につくば霞ヶ浦りんりんロードへのアクセスを分かりやすく案内することが必要。
- ・ ウェブページのアクセス情報を分析し、その解析結果をもとに次の施策検討に繋げてほしい。
- ・ 安全教育を行う指導者育成と、幼児や高齢者に対する質を重視した教育実施に取り組んでいただきたい。
- ・ つくば霞ヶ浦りんりんロードは行政が時間を掛けて路面整備に取り組んできた好例であり、ぜひその点をPRしてもらいたい。
- ・ 自転車の取組は長期に渡るものなので、データを定点観測いただきながら進捗管理いただきたい。